

一言発言

○1番 楠美 寧々

この1年は、友達に会えず外へ出られないと嘆く一方で、リモート授業に対応することによって社会で必要な力を身につけられたと感じました。つい保守的な考え方をしてしまう私にとって、半ば強制的に機会が出来たことは結果的にプラスにもなったと思っています。

私は居心地の良い自分の市が大好きです。しかし、ここで一生を過ごすかと聞かれると考えてしまいます。沼津もまた、新たなことに挑戦する時期が来ているのではないのでしょうか。沼津はもっと若者向けに作られた施設やイベントが発展して欲しいと思います。

そして、私も苦手分野だからと消極的になるのではなく、自分を成長させることに積極的になりたいです。私が沼津のために携われるとしたら SNS などを用いた広報活動だと思います。決して得意ではない分野ですが、挑戦して沼津に貢献したいです。

○2番 笹津 備永

沼津は主幹産業であった水産業が衰退しつつあるため、新たな主幹産業となる企業を誘致すべく、ハード、ソフトを含めたインフラ整備を行う必要があると考えます。物流の面においては沼津港外港を有効活用する、すなわち新たにインフラを作ることより先に、眠っているインフラを有効活用することや、再建が問題化しているゴミ処理施設の建設時には、排熱を活用した発電や給湯などを考え、住む人ばかりでなく企業にとっても魅力的な街になることが、肝要かと考えます。

私は将来この街で暮らしていくことになるので、街の発展が私の成長と同義であり、私の努力が街の活性化につながることを信じて頑張ります。

○3番 米野 創太

5年前の成人式で、私は新成人の方々へお祝いの言葉を送らせていただきました。ここからはや5年という年月が経ち、私が成人を迎えることとなりました。20歳とは一般的に大人という認識をされます。5年前の私も新成人の方々をそう認識していました。しかし、実際はまだ私は多くのことを親に頼り、任せ、精神面でもまだ大人とは言い難いです。これから20歳として大人であるという自覚を持ち、自立していかなければなりません。それには様々な責任が伴いますが、それを負うのが大人であると思います。そして今後様々なことに挑戦し、自分自身の経験値を高め、社会に貢献できるよう成長していきたいです。

沼津では、少子化による人口の減少が今後も進行していくと考えられますが、私は多くの人を呼び込めるような事業を起こし、沼津を盛り上げていきたいと思いをします。

○5番 大島 響弓

私は現在看護学部に通っており、将来は人のあたたかさを大切にした医療従事者になりたいと考えています。常に当事者である自覚と相手に対する心配りの精神を地元沼津の母校で学びました。大きく変わってしまった今の生活の中で、人のあたたかさや自然が人にもたらす力を再認識しています。しかし、人はどんなに問題が大きく深刻でも慣れから重大さを感じなくなることや、自分自身が辛い思いをしていないと無関係であると思ってしまうことにも気付かされました。

責任を背負う成人になった今、改めて心に留め目標に向かって自分自身を成長させることで、将来の沼津への恩返しになればと考えています。

○7番 露木 大雅

私は今年度にて成人になるとともに、学生を卒業します。それにともなって地元沼津を離れることとなりました。昨年より続いているコロナ禍で、リモートワーク等が推進されていますが、私の進む分野は特にリモートワークが浸透している職種です。そこで、今後の自分自身と沼津との関わり方としてワーケーションの新たな場所として活用したいと考えます。ワーケーションとはワーク(仕事)とバケーション(休暇)を合わせた造語です。

沼津からは伊豆半島や富士五湖など、近くにツーリングやキャンプなどに適した場所が多くあります。そのような自然豊かな場所をワーケーションに活用して行きたいと思いをします。

○8番 清水 郁洋

私たちは20歳になり大人の仲間入りを果たしました。私たちは成人を式という形で祝うことはできませんでした。しかし、ここを一つの区切りとして心機一転、より一層気を引き締めて社会、特に地元である沼津に貢献できるように努めていきます。

私は、大学に進学するため沼津を離れて自分の地元の良さを改めて感じることができました。沼津の良さ、私は特に食べ物がそうであると感じています。その良さを住民だけが知っているのではなく、多くの人々に知ってもらえるよう発信する一端を自分も担っていきたくて考えています。成人した大人としての自覚を忘れずにこれから生活をしていきます。

○10番 村松 きらら

たくさんの人に出会い、支えられ、無事に成人を迎えることができました。

成人を迎えたこの1年は、私が今こうしていただけるのは決して「あたりまえ」ではないのだ、と感じた1年でした。決して「あたりまえ」ではない一瞬一瞬に感謝を忘れず、自分の人生に責任をもって、力強く生きていきたいです。たくさんの人と出会い、支えあい、ともにより良い今日をつくっていける大人になりたいです。

ふるさと沼津は、私たちがなりたい大人になるために、つくりたい社会をつくるために、一歩踏み出す「きっかけを与えてくれる」、「背中を押してくれる」まちであってほしいと思います。これから沼津のことをもっと知り、沼津のもつ力を引き出していけたら嬉しいです。

○11番 田尻 彩華

コロナの影響により家計が苦しくなり、共働きになる家庭も多くなり、子どもたちを預ける場所を必要としている人たちが以前より増えたことでしょう。私は、今、大学で保育関係のことを学んでいます。将来、保育士や幼稚園教諭になるかは未定ですが、地域の子育てのお手伝いなど、子どもたちが成長する環境を整える仕事をして、貢献できたらと思います。

沼津で育つ子どもたちが健やかに育ち、ずっとこの街にいたい！と思える魅力ある市にもっと発展するといいなと思います。

○12番 鈴木 春香

令和という新しい時代は、様々な事が忙しくなく変化し、時には我慢することを求められることもあります。その中で、20歳となり新たに大人の一員となった私は、これからも自分なりの考えを持ち、それを大切に、自分らしく過ごすことで、周りに流されないう自立した人間へと成長したいと思います。

私が就職を希望する企業は市内になく、沼津で就職することは叶いませんが、私以外の家族はこれからも沼津に住むため、安心して暮らせる沼津であり続けてほしいです。そのため、沼津市の情勢について常に気に留めていたいと思います。

○13番 森川 陽斗

令和の新しい時代の中、20歳になり新たに大人の一員となれたことを今まで携わってきた方々に、心から感謝いたします。また、20歳になったということは、今まで仕方がないで済まされてきたことが、通用しません。20歳になったにもかかわらず、大人の自覚や行動ができない人は、今まで携わってきた方を裏切ることになると思います。したがって、法律を守ることはもちろん幼い子などにも、あの人のような大人になりたいと憧れられるような大人になりたいと思います。そして、自分のこれからの活動とともに沼津が活性化したら嬉しいと思います。

○14番 田村 優稀

私は、高校卒業後、社会人として働くだけでなく、地元の地域活動にも、積極的に参加してきました。20歳になってからは、さらに地域の活動や行事に参加して、地域を盛り上げていきたいと思います。

また、地域だけでなく沼津市も盛り上げられるように、いろいろなことをしていきたいです。そして、病気や怪我をしないように、好きな運動を続け、健康な生活を心がけたいと思います。

○15番 小針 涼葉

大学の授業はオンライン、試合は中止または無観客と、当たり前だと思っていた環境が、当たり前ではないということを強く感じた1年でした。また一人ひとりの行動に対する責任が最も問われました。コロナ禍になってから責任を持つことの重大さと重要性をととても感じました。成人を迎え、大人の仲間入りをし、2年後には私も社会に出るので自覚を持ち、責任ある行動をとることができる大人になりたいです。成人を迎えた実感はまだありませんが、自分自身の行動を改め自立した生活を送っていききたいと思います。

そして私は、スポーツを通して沼津市を活気溢れる街になっていけたら良いなと思います。そのため、今後自分自身が何らかの形で沼津市に貢献していきたいと考えています。

○16番 下道 諒弥

今、令和という新しい時代の中で私が思うことは、SNSやネットなど情報社会が進んでいく中、生活様式が昔と変わっていくことに自分自身が日々成長することが大切だということです。そのためには、時代の流れが早い今、ただ生活するだけではなく、自分のやりたいことや将来の夢など未来に向かって挑戦していきたいと考えます。

また、将来に希望があるのは自分だけでなく故郷である沼津も同じだと思います。愛鷹のスマート IC やららぼーと沼津の設立など、沼津は日々進化しています。さらに発展するためには、山間部にある広い土地に商業施設や老若男女が楽しめる公園を造るなどして土地を有効活用し、その活気ある過ごしやすい進化していく沼津の魅力を私たち新成人という若者が SNS を通じ社会に発信していけたらいいなと思います。

○17番 山本 凜

令和3年に新成人となり、社会の一員となる私は、これから様々な事に挑戦をし、様々な失敗をして一步ずつ成長していきたいと思います。私は、現在就活中であり、まだ職業は決まっていますが、どんな仕事でも臆せず若さを活かして挑戦をし続けます。

現在は、混乱している世の中ですが、いずれは明るい未来があると信じて沼津市も私自身も成長していき、沼津市の成長に負けないようにではなく、沼津市に必要な人材といわれる様に頑張っていこうと思います。

最後に、19年間ありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。

○18番 川瀬 颯也

今年わたしは、無事に成人を迎えることができました。ここまで自分の成長を助けてくれた多くの方々に会えたことに感謝をしています。また、自然あふれる沼津という地で大切な青春時代を過ごせたことに、とても喜びを感じています。親元と地元を離れ、今まで多くの方々に支えられて生きてきたことを深く理解することができました。だからこそ、多くの人々への感謝と謙虚さを忘れることなく日々成長する大人になりたいと思っています。

私は自分を育ててくれたこの街に、恩返しをするため日々勉強に勤しんでいます。自然豊かなこの街を後世まで残すことが出来るエンジニアになれるよう努力していき、沼津の力になりたいです。

○19番 坂上 葵惟

私になりたいのは、自分の気持ちに正直な人間です。成人を迎え、これから先の大人の世界でも自分を押し殺すことなく、自分の夢や欲求に素直に生きていきたいと思えます。私たち一人ひとは違うからこそ特別であり、価値があると思うからです。

沼津の未来についても同じ想いです。私は5年前に沼津に移住し、ここの暮らしやすさ、人の温かみを知りました。その時から変わらない、沼津だけの良さをもっと広めてほしいと思えます。沼津港などは今でも全国的に有名で、私も大好きな観光地の一つです。将来はそんな伝統をPRする手伝いがしたいです。

最後に、たくさんの人に支えられ成人を迎えられたことに感謝します。